

フグ免許全国統一へ

厚労省が
検討会

6月まで基準取りまとめ

厚労省は4月26日、東京都内でフグ処理免許の基準の全国平準化を目指す「フグ処理者の認定基準に関する検討会」の初会合を開いた。これまで

認められなかった。検討会は6月下旬に認定基準などを取りまとめの予定だ。

に国内で40件報告されたが、減少傾向にある。16年以降は年間20件未満で死者も出ていない。また食中毒の7〜9割は家庭のもの。「特定の県のフグ処理免許の基準が緩い」という問題提起はな

「フグ処理者の認定基準に関する検討会」の初会合を開いた。これまで

輸出や資格 越境に期待

厚労省は今後も免許の認定基準を各県に管理させながら、全都道府県が満たすべき基準をまとめ提示する方針。基準を示すことで、フグ輸出の促進や国内基準の平準化を目指す。平準化は、県をまたいだ免許更新システム

厚労省は今後も免許の認定基準を各県に管理させながら、全都道府県が満たすべき基準をまとめ提示する方針。基準を示すことで、フグ輸出の促進や国内基準の平準化を目指す。平準化は、県をまたいだ免許更新システム

同検討会では、フグ処理免許の評価基準としてどのように受験資格や試験内容を定めるべきか話し合う。第2回会合として5月下旬ごろに関係者からヒアリングを行い、評価基準案も示す。案は6月下旬の第3回会合で再検討し、取りまとめの予定。

厚労省担当者）ため、特定の県の免許基準が今後国の示す基準よりも緩いとされたり、特定の県の免許が剥奪されたりする可能性は低い。

また、輸出や資格越境に期待

